

第3回百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会



「二の荒手」の発掘調査時（平成6年3月）の風景

現在の「二の荒手」周辺の風景

「百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会」開催される！

平成16年11月18日（木）岡山市民会館において「第3回百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会」が開催されました。また、協議前に協議会委員による現地視察が行われました。

第3回協議会では、市民団体を中心に検討された「津田永忠記念公園構想」の内容等を共有した上で、この公園構想を基にした討議や、今後の進め方などについて協議されました。

なお、協議会での協議内容、配布資料、協議の経緯及び結果については、岡山河川事務所のホームページ（広報、閲覧コーナー）に掲示しています。

本号では、第3回協議会資料より、分流部の現状についてご紹介します。

分流部の現状について

●自然環境の現状

●生物の生息状況

- ・注目種として、オニバス、タコノアシ、ヒシモドキ、ミズアオイ、コガマ、ウキヤガラ等の植物が確認されています。
- ・動物では、ほ乳類、鳥類をはじめ多くの種の生息が確認されています。（主な確認種：右表）
- ・県下有数のトンボの生息地として指摘されています。

【河川水辺の国勢調査の結果概要】

分類	生息が報告されている主な種
植物注目種	オニバス、タコノアシ、ヒシモドキ、ミズアオイ、コガマ、ウキヤガラ等（低水路部に分布）
ほ乳類	キツネ、コウベモグラ、カヤネズミ、ヌートリア、イタチ等（キツネは毎年繁殖）
鳥類	ヒバリ、ウグイス、オオヨシキリ等（草地の種） ヒクイナ、カイツブリ等（水辺の種）
両生・は虫類	ウシガエル、トノサマガエル、ヌマガエル、クサガメ、シマヘビ、カナヘビ等
昆虫類	セスジイトトンボ、コフキトンボなどのトンボ類、チョウ類、バッタ類等（トンボ類は県下有数の生息地）
魚介類	カワニナ、チリメンカワニナ、コウライモロコ、カワヒガイ、メダカ等

●水辺（低水路部）の植生概況

- ・ヒシ、ガマ、ツルヨシや川辺1年生草本群落などが分布しています。



一の荒手周辺の水辺



中島竹田橋より上流の水辺

●高水敷の植生概況

- ・オギ、セイタカアワダチソウ、カゼクサ、ヒメシバ、ススキ等による草地、採草場が広がっています。（一部、グラウンド・人工裸地）
- ・中島竹田橋より上流側に窪地があり、ヤナギの高木が見られます。



一の荒手周辺



中島竹田橋より上流の窪地



二の荒手周辺

凡例：植生概要図

- ① 沈水植物・浮葉植物群落
- ② 河辺1年生草本群落
- ③ 開放水面
- ④ 1年生草本群落
- ⑤ 多年生草本群落（広葉草原：セイタカアワダチソウ）
- ⑥ 多年生草本群落（広葉草原：ヨモギ）
- ⑦ 多年生草本群落（イネ科草原）
- ⑧ ヤナギ高木林
- ⑨ 人工草地
- ⑩ 採草地
- ⑪ グラウンド・人工裸地

【植生概要図：現地調査の結果概要（平成15・16年）】



●歴史的資源の現状

●一の荒手

- ・ 築造当時は土堤であったと考えられますが、現在はコンクリートで補強されています。
- ・ 荒手の上下流には、築造当時の姿を今に伝える「亀の甲」が現存しています。

【一の荒手の全景:現在の様子】



【上流側の「亀の甲」の様子】



【下流側の「亀の甲」の様子】



●二の荒手

- ・ 平成10年の洪水等にて、一部破損していますが、概ね築造当時の姿で現存しています。

【二の荒手の全景:中島竹田橋整備前(平成6年以前)の様子】



【二の荒手の全景:現在の様子】



【二の荒手の全景:現在の様子】



●利活用と維持管理の現状

●グラウンド・多目的広場（占用の現状）

・現在、高水敷に3つのグラウンド、多目的広場があり、少年野球などに利用されています。

A 岡山市占用多目的広場
(許可:H18. 3. 31まで)



B 東岡山リトルリーググラウンド
(一時使用届)



C 自由使用



●浄化用水とホタル池・桜の広場

・百間川の水質改善対策として、平成7年度より旭川から毎秒1m³の浄化用水を百間川に導入しています。また、浄化用水の導水路一帯を親水公園・ホタル池として整備しています。

【浄化用水の様子】



【ホタル池周辺の様子】



●子どもの水辺「一の荒手」

・子どもの水辺「一の荒手」は、旭川の河原と分流部を一体的に「子どもの水辺」として指定し、子どもたちの水辺での活動を推進しています。

【自然観察の様子】





【水遊びの様子】



●除草の実施状況（河川管理者）

・河川管理者による除草の実施回数は次のとおりです。除草の範囲を位置図に示しています。

	高水敷部の除草作業	: 1回/年 (約14ha)
	堤防部の除草作業	: 2回/年 (約2ha)
*	除草作業費	: 約 800万円/年

【除草後の様子】



【利活用と維持管理に関する情報:位置図】

※「こどもの水辺」利用は、分流部周辺一体で行われています。



●関連計画

●中原川締切堤防

- ・平成10年の洪水時、中原川への逆流による被害が発生しましたが、中原川への逆流を防ぐための締切堤防が平成16年3月に完成しています。

【締切堤防完成後の様子】



【平成10年洪水の様子】



●河川防災ステーション（国土交通省・岡山市）

- ・中原川締切堤防の隣接地に河川防災ステーションを検討中です。（平成16年3月30日：承認）

平常時のイメージ



■平常時の機能

交流機能

- 河川を通じた交流拠点の場
- 水害等河川情報の提供の場
- 水防演習の場
- 水防関係者の交流の場

レクリエーション・便益機能

- 地域住民が自由に利用できる場
- 自然エネルギーの利用等、地域の規範となるような場
- 集客性のある魅力ある場

洪水時のイメージ



■洪水時の機能

防災機能

- 岡山市の水防活動における現場指令拠点
- 水防資材の備蓄基地
- 消防団員等水防従事者の待機休息の場
- 住民の緊急避難場所
- 情報収集・発信基地

●旭川・百間川ランニングコース

- ・旭川と百間川の高水敷を利用したランニングコースを岡山県と岡山市にて整備中です。



整備済区間の様子
(旭川:竹田バス停付近)



整備済区間の様子
(百間川:山陽新幹線付近)

【ランニングコース等計画位置図】



●都市計画道路竹田升田線（岡山県）

- ・平成16年度より、百間川橋梁（仮称）の下部工事が着手される予定です。

第3回百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会開催

第3回協議会での協議の骨子、資料、主な意見概要は次のとおりです。

●協議の骨子

- 公園構想を基にした討議
- 今後の進め方について
- 次回協議会について

●資料

1. 分流部の現状について
2. 津田永忠記念公園構想について
3. 今後の進め方について



第3回協議会の様子



現地視察の様子

●主な意見概要

津田永忠記念公園構想に託された思い

- ・市街地近郊における貴重な自然を、子供たちの環境学習や自然観察の場として、市民の憩いの場として活かすとともに、一の荒手や二の荒手などに代表される地区の歴史が偲べる「原っぱ」的な公園を念願する。
- ・河川管理等の建築施設整備がある場合は、津田永忠の人柄や業績を伝える場として、また、自然観察などの活動をサポートする拠点としての機能の併設を望む。



公園構想を基にした討議

- ・洪水に対するハード的な護岸や堤防は強固にしつつ、低水路や河川断面での工夫を凝らし、多様な水辺環境の創造手法を検討すべき。その際、現状のグランド利用などとの調整についても検討すべき。
- ・一の荒手や二の荒手などの歴史的資源を、できる限り保存する方向での治水計画を検討していくとともに、これらを回遊する遊歩道や説明板の設置などの活用方法を検討すべき。
- ・防災ステーションへの併設機能について、地域の意見を踏まえつつ、歴史や自然観察等に関連した展示学習スペース、ボランティア活動をサポートする拠点などを具体化すべき。

今後の進め方について

今後の協議会過程の中で、住民説明会等により地域の方々との意見交換を行っていく。また、協議会の開催情報を広くPRするとともに、利用者や地域の方々に参加しやすい日時に開催し、開かれた会となるよう工夫していく。

次回の協議会について

治水計画の内容について共有を図った上で、できる限り自然環境や歴史的資源を保全する視点、現状の利用者との調整を図る視点等から、公園構想と治水計画との調整課題の方向性について討議する。

協議会での協議内容、協議会資料の詳細については、岡山河川事務所ホームページ(広報、閲覧コーナー)をごらんください。

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 調査設計課

岡山市鹿田町2丁目4番36号 TEL 086-223-5101

岡山河川事務所ホームページ <http://www.okakawa-mlit.go.jp>